

三川町横川新田出身の石川禎浩氏『中国共産党、その百年』

三川町横川新田出身で、京都大学人文科学研究所の石川禎浩教授（59）の著書『中国共産党、その百年』（筑摩書房）が注目されています。

小中島の鈴木隆さんが、石川氏と縁があったて、著書が贈られ、お借りして読みました。

375頁の大著でありながら、読み始めたら止められなくなり、一気に読み上げました。

エピソード満載

導入部から、劉少奇の寝室のベッドに脚がない理由が明かされ、共産党指導者の多くが過労で、睡眠薬を常用していたなど、エピソードが満載です。

中国共産党は、昨年で創立100周年ですが、実はその10年前に、上海の新聞に黨員募集の公告が出ていたことや、社会主義の理論は、

大国主義へ傾斜

同時代の日本の書籍からの転載・翻訳を通じて、中国に入ったことなど、細かいことまで調べ上げています。

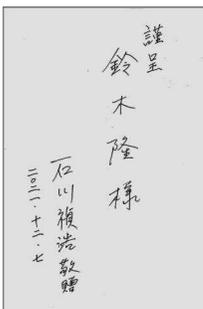
毛沢東の思想への徹底を強制した「整風運動」の時代、文豪の家に育ち、名門中学で学んだ女性が黨員となり、恋愛と結婚、活動との葛藤の末に24歳で死去したことなど、痛々しさも胸を打ちます。

最近の若者の入党の理由が、理念への希求に代わって、「自」実現」と「就職に有利」になっていることなど、共

産主義のイデオロギーが失われていることも明かされています。

結党から30年で政権を掌握し、70年以上にわたって1党独裁を続けてきた中国共産党が、民主主義を抑圧し、ナシヨナリズムと大国主義へ傾斜したのは何故なのか、100年の歴史から見えてきます。

同書は昨年、「司馬遼太郎賞」を受賞し、石川禎浩氏は6月29日、母校の鶴南高校の創立記念式典で講演を行いました。



石川禎浩
Ishikawa Yoshiko

中国共産党、その百年

第33回 アジア・太平洋賞「特別賞」受賞!

世界第2位の経済力、徹底した社会管理体制……

いかにして超巨大政権党となったのか?

結党100年の歩みを描き切った、第一人者による中国共産党史の決定版!

筑摩書房 定価1980円(10%税込)

村の四季

⑧

鈴木重雄（八色木）

■朔郎さんの11月

前回も書いたが、朔郎さんの家は私の家の本家である。八色木集落には127戸あるが、最も古い方ではないかと思うが、故人になった本人に以訖尋ねたが、関心がなくわからなかった。

彼は小学校尋常科から鶴岡中学校（鶴岡南高校）に進学した。部活にバレーボールを選んだ。当時は9人制である。身長もあったので、前衛レフトのポジションであった。

戦時中であつたから、勉強だの体育だのどころではない、学徒動員で長野県の軍需工場で終戦を迎えた。

父は村役場の助役であつたが、軍事日集で、中国大陸で戦死された。朔郎さんの学徒動員中である。戦争がなければ、彼は大学に学び、官吏か教職の道を選んだであろう。

鶴岡中学在学中に、早稲田大学バレーボール部キャプテンをされた池田さんに憧れ、熱中し、農作業を終えると夜間、鶴岡まで自転車を通った。

池田さんは私もお目にかかったこともあるが、指導され、強かったので、全国大会を鶴岡公園広場で開催したのを覚えている。

八栄島中学校があつた頃、コーチをしていた。私も手伝ったこと

ともある。パスやレシーブ、玉拾いなど、生徒と一緒にプレーするのが楽しかった。少人数ながら強かった。

やがて藤島中学校に統合され、藤中女子バレーとなったが、伝統的に藤中は強かった。彼は庄農生にもコーチしていた。農業を生き業としながら、よく頑張ったと思う。

夜は、文学や漢詩が得意であつたので、私も勉強させられた。

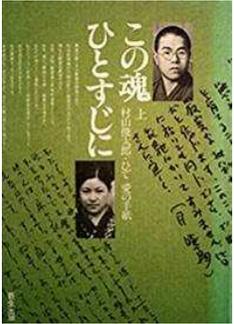
終戦を境に、日本は軍国主義から民主主義へと大転換であつた。若者たちは天下国家を論じ、青年団活動も盛んであつた。各村に青年団、郡と県、そして全国に連合青年団が結成され、弁論大会や演劇発表会などがおこなわれた。

特に八栄島は演劇が盛んで、全国大会に代表として出場し、見事優秀賞を得て、中央の新聞で全国に紹介された。藤島町史下巻に詳しく記載されている。

彼は東田川郡連合青年団長もしたので、県内の知人の中には、政治を志し、県議や町村長になった人もいた。

彼等に刺激されたのであろう、朔郎さんは議会議員になり、議長を務め、赤川土地改良区連合の理事長などを務められ、現職で亡くなられた。

北方性教育の実践 村山俊太郎・ひで 顕彰碑建立の募金を



青山崇氏から、「村山俊太郎ひで顕彰碑」について届けられました。

懸案の顕彰碑建立

村山俊太郎・ひで顕彰碑建立実行委員会(委員長・梅津保一)が結成され、私もその一人である。

遅すぎたが、強く望んでいた鈴木輝雄氏は、あの世で建立と聞き、宿願成就と慶んでいることだろう。

俊太郎は1905年(明治38)、福島県現須賀川市に生れる。間もなく一家は山形に移住。

ひでは、1908年(明治41)、天童市山口に生れる。そして2人は山形師範学校を卒業し、小学校の教師になった。知り合い、共に熱き愛の往復書簡を交わし、1933年(昭和8)結婚した。

しかし、その前に俊太郎は、1931年(昭和6)11月、7人が集まり、県内初の教労山形支部を非合法で結成していた。

宣言は言葉を振じり出すように書かれている。

「教育労働者諸君(略)劣等児、困窮児は益々量的に質的に倍

加する。

如何に劣等児救済教育を施すとも、胃癌にアンマ賣だ。

この吾等小学校教育に対するかかる飽くなき経済的迫害、政治的束縛から吾々を解放し、行きづまれる腐敗したブルジョア教育を撲滅し、輝かしき科学的プロレタリア教育制度並びに理論の建設を完成する。

唯一の最後の武器それは団結である。」

しかし特高が察知、1932年3月、小白川第6小学校卒業式記念写真撮影を終えると、生徒のいる前で検挙された。

募金を『民報』加藤鉦一まで、或いは下に。

ひと

日下部勇一 (庄内町榎島)

波瀾(乱)万丈の人生

青山 崇

■急性心不全で入院 医師に一喝

1996年12月15日、呼吸困難で協立病院に入院、結局1カ月余りの入院になった。酸素吸入、強心剤などの処置をした。

12月定例議会中で、一般質問を行おうと、病室で内容を準備中に、主治医が回診にきた。「議会と命のどっちが大事なのだ！」と厳し

時起床し、4キ離れた余目駅にバイクで向かう。雨風や吹雪の日は特に酷かった。

寝台特急列車に運送されてくる「しんぶん赤旗」朝刊を、各社の担当者と一緒に列車から降ろすのである。

早朝なので、色んなことに遭遇したが、勇一は一時も休んでおれないのに…。

八幡神社前の水道本管が破裂しているのので、企業課に連絡したり、雪で動けない車を押し、脱出させたりした。また、思いがけないこ



■なんとという皮肉か

花見酒 説明しないで 行っちゃったとは、川柳のつもりで他の物に書いたんだが、気の毒にも選挙演説中の事だったんだ。しかも、犯人があんな近くに映っていたなんて。

▲多くの人が集まるんだから、どんな思いの人がいるかは分からないから仕方がないが、手製の殺しの道具を持つていようとは誰も考えないことよ。それでも警護には手落ちがあったんだと、警護側が言っている。だから、どんな議論で、街頭演説はどんな形になっていくものやら。

▲しかし、こんなことを書くとは日本では、死者に鞭打つと言って嫌われるんだが、権力の一番上において、特定集団の応援をしていたとは、当時、高額の物を売りつける靈感商法と、

ともあった。数十万の小切手を拾い、届けて感謝されたこともあった。

民主青年同盟の常任委員、日本共産党の地区常任委員、県委員も務め、宣伝担当が多かった。

最後に、勇一の議会調査の質問は、故小竹県議、佐藤政弥元三川町議、故滝巖羽黒町議たちに親切、丁寧な指導を受けたことに深い敬意を表したい。

「波乱万丈の一生」もここで一応筆を置きたい。

集団結婚とかの報道が世間を揺るがしていた集団にダゼ。彼は世間に隠れてトンデモナイ事をしていたという事。

▲日本を代表する人が推すんだからと、そのような集団にのめり込んだ人や、それこそ破産まで行かなくても、そんな状況にいた人は多くいて、この一件をホット感じた人もいたんじゃないだろうか。桜を観る会の招待状を利用して集金事件と同じように、彼には反社会的な事をしているとの認識は無いんだ。

▲だから、政治とは関係ない処での恨みを持つ者が大勢いたという事や、世間では彼の首相時代を持ち上げているがサ、政治を離れての恨みで命を落とすとは、なんとという皮肉か。▲95%が国葬に反対の報道。事務屋が一人が落命しているし、ウソの答弁で国民を愚弄したんだから。(石川)